

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（女川原子力発電所2号炉工事計画）（164）
2. 日 時：令和3年6月25日 13時30分～17時50分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

江崎企画調査官※、植木主任安全審査官、片桐主任安全審査官、
藤原主任安全審査官※、三浦主任安全審査官※、
皆川主任安全審査官、伊藤安全審査官※、服部安全審査専門職、
山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与

東北電力株式会社：

原子力本部 原子力部 課長、他1名

原子力本部 原子力部 課長、他20名※

5. 要 旨

- （1）東北電力株式会社から、女川原子力発電所2号炉の工事計画補正申請のうち、「可搬型重大事故等対処設備の設計方針」、「波及的影響」、「制御棒挿入性評価」等について、提出資料に基づき説明があった。
- （2）これに対し、原子力規制庁は以下の点について指摘等を行うとともに、今後、説明内容について引き続き確認することとした。

<可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書>

- 車両型設備の加振試験結果のうち、評価部位の最大応答加速度が加振台の最大加速度より小さくなっているものについて、その理由を説明すること。

<可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書>

- 小型船舶のランダム波加振試験について、試験条件等の詳細を説明すること。

<可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料>

- 耐震計算書に記載していない設備について、保管時に地震により機能喪失

しない理由を整理して説明すること。

<下位クラス施設の波及的影響の検討について>

- 小規模建屋の損傷による防潮壁への波及的影響評価について、防潮壁の損傷モードと要求機能との関係性及び想定している小規模建屋の損傷形態を踏まえた上で評価方法の妥当性を整理して説明すること。
- 防潮壁支柱の建屋転倒荷重作用時の軸力について、数値の妥当性を整理して説明すること。

(3) 東北電力株式会社から、(2) について了解した旨の回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言を踏まえた原子力規制委員会の対応の変更について」(令和3年4月28日 第6回原子力規制委員会配付資料3)を踏まえ、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- (1-1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(可搬設備)(O2-他-F-01-0073__改0)
- (1-2) VI-1-1-6-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針(O2-工-B-01-0024__改1)
- (1-3) 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-6-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針)(O2-工-B-01-0025__改1)
- (1-4) VI-2-別添3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針(O2-工-B-01-0026__改1)
- (1-5) 先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-別添3-1 可搬型重大事故等対処設備の耐震計算の方針)(O2-工-B-01-0027__改1)
- (1-6) VI-2-別添3-2 可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動(O2-工-B-01-0028__改0)(令和3年6月11日提出資料)
- (1-7) 先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-別添3-2 可搬型重大事故等対処設備の保管エリア等における入力地震動)(O2-工-B-01-0029__改0)(令和3年6月11日提出資料)
- (1-8) VI-2-別添3-3 可搬型重大事故等対処設備のうち車両型設備の耐震計算書(O2-工-B-19-0211__改0)

- (1-9) VI-2-別添3-4 可搬型重大事故等対処設備のうちボンベ設備の耐震計算書 (O2-E-B-19-0212__改0)
- (1-10) VI-2-別添3-5 可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震計算書 (O2-E-B-19-0213__改0)
- (1-11) VI-2-別添3-6 可搬型重大事故等対処設備の水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価結果 (O2-E-B-19-0214__改0)
- (1-12) 補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料 (O2-補-E-19-0600-23__改1)
- (1-13) 先行審査プラントの記載との比較表 (補足-600-23 可搬型重大事故等対処設備の耐震性に関する説明書に関する補足説明資料)(O2-補-E-01-0012__改0) (令和3年6月11日提出資料)
- (1-14) VI-5-40 計算機プログラム (解析コード) の概要 ・MSC NASTRAN (O2-E-B-22-0047__改0) (令和3年2月18日提出資料)
- (1-15) VI-5-25 計算機プログラム (解析コード) の概要 ・NX NASTRAN (O2-E-B-22-0032__改0) (令和3年2月25日提出資料)
- (2-1) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表 (耐震基本方針) (O2-他-F-19-0004__改25)
- (2-2) VI-2-11-2-21 CRD自動交換機の耐震性についての計算書 (O2-E-B-19-0143__改0)
- (2-3) VI-5-40 計算機プログラム (解析コード) の概要 ・MSC NASTRAN (O2-E-B-22-0047__改0) (令和3年2月18日提出資料)
- (2-4) 補足-600-37 CRD自動交換機の耐震性についての計算書に関する補足説明資料 (O2-補-E-19-0600-37__改0)
- (2-5) VI-2-1-5 波及的影響に係る基本方針 (O2-E-B-19-0008__改4)
- (2-6) 先行審査プラントの記載との比較表 (VI-2-1-5 波及的影響に係る基本方針) (O2-E-B-19-0009__改4)
- (2-7) VI-2-11-1 波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針 (O2-E-B-19-0126__改2)
- (2-8) 補足-600-4 下位クラス施設の波及的影響の検討について (O2-補-E-19-0600-4__改4)

- (2-9) 補足-600-5 水平2方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について(02-補-E-19-0600-5__改0)(令和3年5月13日提出資料)
- (2-10) 女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(耐震評価:制御棒挿入性試験(02-他-F-19-0015__改5))
- (2-11) VI-2-6-2-1 制御棒の耐震性についての計算書(02-工-B-19-0051__改4)(令和3年6月17日提出資料)
- (2-12) VI-5-79 計算機プログラム(解析コード)の概要・CR-IN(02-工-B-22-0086__改0)(令和3年5月14日提出資料)
- (2-13) 補足-600-16 制御棒の挿入性評価について(02-補-E-03-0600-16__改5)
- (2-14) 女川原子力発電所第2号機 制御棒の挿入性試験について(02-他-F-01-0067__改1)

以上